

8月12日(日)

午後1時30分～4時

(午後0時30分開場)

入場無料



とうかい国体盛り上げ隊と「茨城国体」ホッケー競技を盛り上げよう!

# 教えて! 山谷さん 茨城口ボッツ スポーツで街を盛り上げる方法

2019年開催の「いきいき茨城ゆめ国体2019」。村はホッケー競技の会場となっているほか、笠松運動公園で開閉会式が行われるため、全国各地から多くの方々が来村します。

村では国体開催を契機に、スポーツを通じた地域活性化を図るため、村民と行政が一体となった「とうかい国体盛り上げ隊」を組織しました。今後、「いきいき茨城ゆめ国体2019」「ホッケー」「東海村」を、全力でPRしていきます。

場所▼東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」

内容▼▽講演…「茨城口ボッツの挑戦! プロスポーツによる地方創生」講師…山谷拓志さん(株式会社茨城口ボッツ・スポーツエンターテインメント代表取締役社長) ▽パネルディスカッション…「マイナースポーツからの挑戦! ホッケーの秘める可能性」

問い合わせ▼とうかい国体盛り上げ隊(企画経営課内 ☎282-1711 内線1336)

## 山谷拓志さん PROFILE

1970年東京都生まれ、慶應義塾大学経済学部卒業。Bリーグ2部に所属するプロバスケットボールクラブ「サイバードイン茨城口ボッツ」運営会社の社長ならびにクラブ代表を務める。スポーツマネジメント分野における専門家としても注目を集め、セミナー、講演、寄稿多数。



ふるさと歴訪

歴史を再発見!

## 田辺昭三博士と東海村

田辺博士は静岡県菊川町(現・菊川市)のご出身で、高校生の頃から考古学に興味を持ち学生考古学会を組織され、國學院大学の大場磐雄教授等の指導を受けた考古ボーイであった。

立命館大学に進まれ林屋辰三郎・小林行雄教授に歴史学・考古学を学び、大学院修了後は平安高等学校で教鞭を執る傍ら須恵器研究に没頭し、その成果は『須恵器大成』として学界に大きな益を与えた。この研究は末永雅雄先生によつて紹介され、日本学士院賞を受賞された。田辺博士は日本考古学界では数少ない学士院会員であった。博士は私の8歳上で、平安高校教諭時代に上洛して博士を訪ねると、平安高校の体育館に須恵器片を広げて整理を楽しんでいる事が多かった。現在の古墳時代の絶対年代比定にはこの書が基準とされ「須恵器研究の父」として後進から尊敬されている。

博士はこの受賞により創立時の私立奈良大学の初代教授としてその礎を



田辺昭三博士  
東海村馬頭根窯跡調査プレハブにて

築いたが、ある理由で去り、京都市埋蔵文化財研究所初代研究部長として水中考古学を開拓され、この分野でも多くの業績を上げられた。特に中国との学術交流の道を開かれたこともよく知られている。晩年は京都造形芸術大学教授・神戸学院大学教授等を歴任され、2006年2月に逝去された。博士と東海村の関係は、1983年夏の馬頭根窯跡の発掘調査の指導である。博士は学士院賞を受賞するために上京し、その足で牛島茂カメラマンを帯同して8月1日に来村され、2日間現場で専門的に須恵器窯の調査を指導してくださった。この窯跡の報告書には博士の意思が大変強くみられ、関東地方の須恵器窯の調査報告書としては異色である。

博士は酒を愛され、その夜は学生と同じ宿舎で深夜まで飲み明かした事が懐かしく思い出される。この窯跡は博士の希望で現在も埋め戻されて保存されている。私は東海村の文化財保護に対する温かさが好きである。

土浦市立博物館館長

茂木 雅博